

国語科（国語総合）学習指導案

漢文入門
（高等学校 第1学年）
神奈川県立総合教育センター



【『平成 20 年度研究指定校共同研究事業(高等学校)授業改善の組織的な取組に向けて』
平成 21 年 3 月】

平成 20 年度研究指定校である大井高等学校において、授業改善に向けた組織的な取組として授業実践を行った学習指導案です。

絵や図を使うことで生徒が学習に取り組みやすくしたり、付属問題を繰り返し練習させて基本的な句法を理解しやすくしたりする工夫を取り入れた学習指導を行いました。

大井高等学校「国語総合」学習指導案

1 学 年 第 1 学年

2 科目名 国語総合

3 単元名（教科書名） 漢文入門（桐原書店「展開 国語総合 改訂版」）

4 単元の目標

- ・積極的に訓読・口語訳しようとする態度を養う。
- ・適切な箇所区切って訓読し、文章に描かれた人物、情景、心情などの内容を表現に即してとらえる。
- ・返り点に従って書き下すための基本的な句法を理解する。

5 単元について

教材観・題材観

「戦国策」には、巧みな話術を駆使する多くの間者が登場する。虎と狐という身近な動物のたとえ話によって、敵を攻略しようとするおもしろさを味わうことができる。

生徒観（生徒の状況）

漢字の基礎力に乏しく、漢字ばかりが並んでいる漢文には苦手意識をもっている。書き下しができることを第一義的な目標としながら、内容を理解していく過程で、漢文の持つリズム感や奥深さを味わうことが学習意欲の向上につながると考える。

指導観（主な支援）

書き下しの際に、矢印をつけて、読む順番が分かりやすくなるように工夫する。口語訳を（ ）に入れさせ、部分訳にすることで、あらすじをつかめるように支援する。

6 解決を目指す課題

基礎学力の定着を目指し、意欲的に学習する姿勢を養う。

7 課題解決の方法

- ・絵や図を作成し、堅苦しさを感じさせないようにして、漢字に対する苦手意識を克服する。
- ・基本的な句法を理解し、書き下しができるようにするため、付属問題を繰り返し練習させる。

8 課題解決の状況を確認する方法

毎時間、プリントを回収・添削し、生徒の理解度を確認する。

9 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の時間数 4 時間扱い

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
内容を読み取るために積極的に訓読・口語訳しようとしている。	内容の面白さを味わうために適切な箇所区切って訓読し、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即してとらえている。	内容を読み取るために返り点に従って書き下すための基本的な句法を理解している。

(3) 指導と評価の計画

時	学習内容	指導内容	評価規準 【評価の観点】	評価 方法
1	本文を音読する。 読み仮名を付ける。 返り点に従って書き下す。 (必要ならば矢印を付ける。) 書き下す。	大きな声で一緒に読む。 プリントに読み仮名を付ける。 返り点に従って矢印を付けさせる。	積極的に訓読しよう としている。 【関心・意欲・態度】	プリントの 内容
2	本文を音読する。 書き下す。 禁止・使役形・反語形の用法を理解する。	大きな声で一緒に読む。 書き下しを完成させる。 句法練習の箇所を解答する。	内容を読み取るため に返り点に従って書 き下すための基本的 な句法を理解してい る。 【知識・理解】	プリントの 内容
3 (本 時)	本文を音読する 禁止・使役形・反語形の用法を確認する。 口語訳(部分訳)をする。 絵や図を作る。 たとえ話を理解する。	指名して大きな声で読ませる。 プリントの復習を行う。 (付属問題の復習) 教科書の脚注を参考に、口語訳 する。 たとえ話を解説する。	内容を読み取るため に積極的に訓読・口 語訳しようとしてい る。 【関心・意欲・態度】	プリントの 内容
4	本文を音読する。 たとえ話の内容について復 習する。 全体のまとめ。	指名して大きな声で読ませる。 プリントを解説する。	内容の面白さを味わ うために適切な箇所 で区切って訓読し、 文章に描かれた人 物、情景、心情など を表現に即して内容 をとらえている。 【読む能力】	プリントの 内容

(4) 観点別評価について

指導と評価の計画に記載した評価規準の一部について、「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例と、「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だてを記載した。評価規準の(時)は指導と評価の計画にある「時」とした。

【関心・意欲・態度】

学習活動における具体の評価規準(3時)	内容を読み取るために積極的に訓読・口語訳しようとしている。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	大きな声で訓読し、プリントに積極的に取り組み、解答欄以外の書き込みがある。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	机間指導をしながら個々のプリントに矢印をつけて読む順番を示し、書き下す努力を促す。

【読む能力】

学習活動における具体の評価規準(4時)	内容の面白さを味わうために適切な箇所で区切って訓読し、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即してとらえている。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	絵や口語訳が完成している。絵の表現に工夫が見られる。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	プリントを添削しておき、それに従って口語訳するようにアドバイスする。

【知識・理解】

学習活動における具体の評価規準(2時)	内容を読み取るために返り点に従って書き下すための基本的な句法を理解している。
「十分満足できる」状況(A)と判断した具体的状況例	プリントの句法の問題にすべて正しく答えている。
「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への手だて	机間指導しながら句法を説明し、書き下すよう促す。

10 本時の展開(単元の3時間目)

(1) 本時の目標

本文の口語訳を通して、たとえ話の意図を理解する。

(2) 本時の指導過程

過程	学習活動	指導内容	指導上の留意点	評価規準【評価観点】(評価方法)
導入 0~7分 (7分)	本文を読む。	10名程度指名読みさせる。	大きな声で、正しく区切って読むよう注意する。 虎や狐の心情をとらえて読むよう注意する。	
展開 7~40分 (33分)	禁止・使役形・反語形の用法を確認する。	前時に解答したプリントの練習問題を復習させる。	基礎学力の定着を目指し、句法を掲示して次の口語訳が順調に進むようにする。	
	口語訳をする。	本時のプリントの()の中に部分訳を入れさせ、口語訳を完成させる。	教科書の脚注を利用するように助言する。	内容を読み取るために積極的に訓読・口語訳しようとしている。 【関心・意欲・態度】 (プリントの内容)
	たとえ話を図化する。	狐・虎・その他の獣の心情・情景を正しく理解させるため、表情やしぐさを図化させる。	意欲的に学習する姿勢を養うために教科書の挿絵を理解させプリントに絵を描かせる。	
まとめ 40~50分 (10分)	たとえ話を理解する。	実際は誰をどのようにたどっているのかを解説する。	プリントの裏面の地図に国名と動物・人物をリンクさせながら記入させ解説する。	

11 解決を目指した課題の解決の状況

プリントを回収添削したところ、プリント例文の書き下し文、現代語訳共に正しい解答が記入しており、本時の授業内容に関しては、ほぼ理解したことを確認できた。このことから、基礎学力の定着については、本時で目指した課題の目標はほぼ達成できたと思われる。また、予習をしてくる生徒もあり、意欲的に学習する姿勢が養われたと思われる。

授業後に振り返りシートを用いて授業の振り返りをさせ、複数の質問項目に対して、「とてもそう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」のいずれかで回答させた。質問項目に対する「とてもそう思う」と回答した割合は次のとおりである。なお、振り返りシート全体で「あまり思わない」という回答はなかった。

「教材に興味をもて、授業に乗りやすかった」 57%

「授業の流れが自然で、プリント、練習問題などは取り組みやすかった」 64%

「講義や説明、先生の質問や板書が分かりやすかった」 71%

「生徒が自分で学ぶ場面があった。」 82%

「先生に質問すると分かりやすい回答が返ってきた」 64%

以上の結果からも生徒の満足度が高い、生徒が意欲的に参加する学習活動が行われたことをうかがうことができる。

12 授業実践に関する成果と課題

課題解決のための計画と実践は適切であった。

故事の内容を各自のプリントに絵で描かせ、更に黒板にも書かせて、堅苦しさを取り除き、楽しく取り組む雰囲気が出た。また、プリントにコマ漫画を入れ、その中の人物のセリフを完成させるようにしたり、ペープサート（紙にかいた絵を棒で動かす人形）を使って内容を確認したりしたので、歴史的な話への発展も比較的スムーズにできた。

句法については前の時間に説明した内容を掲示物にまとめて黒板にはり、それを繰り返し見せながらプリントの句法練習を行ったので、効果的に理解させることができた。抵抗感を和らげ理解を促すために例文の中に身近な内容や口語を交えたことも適切であった。

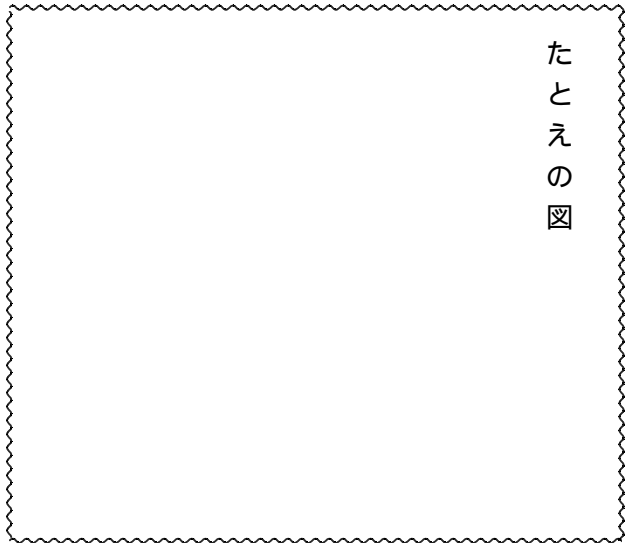
しかし、授業で読めた漢字が、違う場面になると読めなくなるなど、学習内容の定着について課題は残っている。

虎の威を借るⅡ)

虎求ニメテ百獣ヲ而食レラフ之ヲ。
 得タリ狐ヲ。
 狐曰ハク、「子無カレ、敢ヘテ食ラフコト我ヲ也。」
 天帝使ニ我ヲシテ長ニ百獣ニ命ニ、今、子食ラハバ我ヲ、是レ逆天帝ノ命ニ也。断定
 子以テ我ヲ為レサバ不レ信ナラ、吾レ為レ子ノ先行セン。子随ニ我ガ後ニ觀ヨ。百獣之見我ヲ、而敢ヘテ不レラン走ラ、乎。虎以テ為レ然リト。故ニ遂ニ与レ之ト行ク。獸見之ヲ皆走ル。虎不レ知ニ獸ノ畏レテ己ヲ而走ル也。以テ為レハク、「畏レル狐ヲ也。」

【書き下し】

たとえの図



() 氏名 ()

【口語訳】

虎が () 求めて食べていた。

(ある時) 狐を捕まえた。狐が言った、「あなたは、 () 。

【禁止】 () 。

() は私を百獣の王様にさせました。

【使役】AがBに()させる。() あなたが私を食べるなら、それは天の神の命令に逆らうことになりま () す。

あなたが私の言うことを () 思うなら、私はあなたのために先に立つて歩きましょう。

あなたは私の後についてきてよくみなさい。獣たちは私の姿を見て

() () ことがありましようか。

【反語】疑問文 反対の意味 どうして()か? いや()ない。虎はそのとおりだと思っ () た。

だからそのまま () と共に出かけた。獣はこれを見て皆 () () 。

虎は、獣が () () を恐れて逃げるとい () うことがわからなかった。

虎は「(皆) () のだ。」と () ()

【練習問題】

【禁止】

無_レカレ
 ……(こと)無かれ
 ……してはならない

【使役】

A 使_{ニム} B ラシテ ……セ
 A B をして ……せ **し**む
 ……AがBに ……させる
 「使」は使役の助動詞なので
 ひらがなにする！

【反語】

敢_{ヘテ}不_{ニラ}ン ……平_ヤ
 敢_{ヘテ}へて ……ざらん **や**
 ……どうして ……ないか？
 いや、……する
 「平」は疑問の助字なので
 ひらがなにする！

《例文》

授業中勿_ナニカレ飲食_{スル}

君莫_ナレカレ笑_{フコヨ}

王使_{ニム}家来_{ラシテ}行_カ

兄使_{ニム}妹_{ラシテ}買_{ニハ}菓子_ヲ

敢_{ヘテ}不_{ニラ}ン学_バ乎。

敢_{ヘテ}不_{ニラ}ン食_ベ乎。

「不」は打ち消しの助動詞なので、ひらがなにする！

「江乙と宣王の会話のイラスト」

《書き下し・口語訳》

意味

意味

意味

意味

意味

意味

「江乙が宣王にたとえ話をした」目的

「中国の戦国時代の地図」